

# 関連資材

## Related materials



IKベース .....	84
Iブロック用基礎ブロック .....	87
ふる里用基礎ブロック .....	87
IKベース(張りタイプ) .....	88
IKベースKR・K型 .....	89
ベースブロック・保護工ブロック .....	90
IK小口止ブロック .....	92
IK小口止ブロック(緩勾配) .....	93
スリット小口 .....	94
防災積ブロック(管理者簡易階段兼用) .....	95
階段ブロック .....	96
スロープステッパー .....	97
みち草 .....	98
カブサル(洗い出しタイプ・擬石タイプ) .....	100
エコロアラタ .....	102
トランシェルター .....	102
飛石ブロック .....	103
飛石ブロック(クラナガセ) .....	103







# IKベース



三川50型用

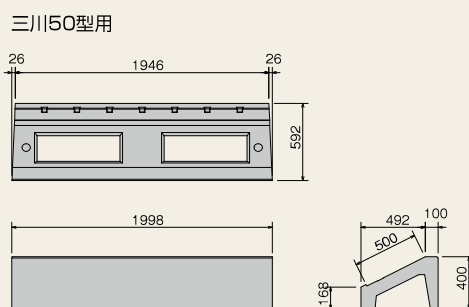
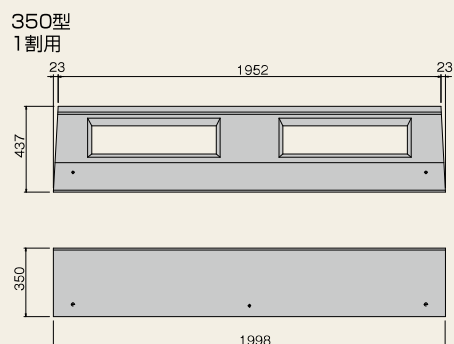
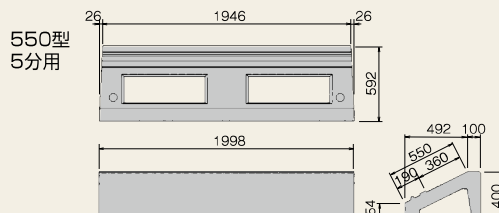
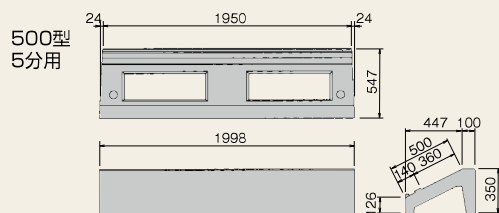
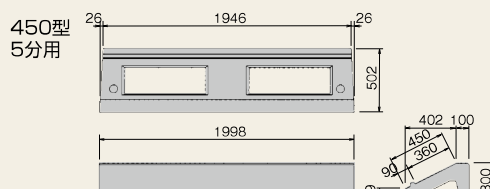
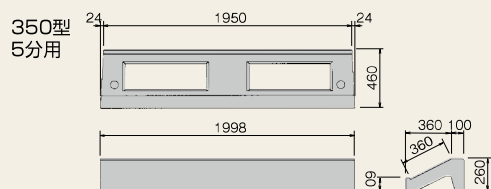
## ◆特長

- ・土木構造物標準設計に合わせ、350・450・500・550のタイプがあります。
- ・中詰コンクリートにより地盤になじみ一体化します。
- ・ブロック背面を連結プレートで連結することで一体性が増します。
- ・根石の位置決めを容易にするため、後部に突起を設けてあります。
- ・ブロック重量が、220～380kgと軽量で、小型重機での施工が可能です。
- ・型枠の組立、解体が不必要で熟練工を必要とせず工期短縮できます。
- ・プレキャスト製品のため形状が安定しており、根石ブロックの据付が容易です。
- ・型枠が不要で、木材等の廃棄物を出しません。

## ◆規格諸元

名 称	規 格 (mm)	参考質量 (kg/個)	胴込材料 (㎡/個)
350型	260×460×1998	220	0.077
450型	300×502×1998	271	0.104
500型	350×547×1998	318	0.137
550型	400×592×1998	381	0.186
砂防用500型	524×747×998	357	0.187
砂防用550型	546×792×998	381	0.207
350型 1割用	350×437×1998	331	0.078
三川50型用	400×592×1998	364	0.186

## ◆製品図





## ◆施工手順



基礎材の設置



ブロックの据付



ブロックの位置調整



施工完了



コンクリート表面仕上げ



コンクリート投入

### 1 基礎材の設置

ブロックを据付するため、基礎材を投入し締固めます。

### 2 ブロックの据付

所定の吊り金具を用いてブロックを重機にて吊り上げ据付けます。

### 3 ブロックの位置調整・連結

必要に応じてブロック背面を連結プレートにて連結します。

### 4 コンクリート投入

ベース中詰部にコンクリートを打設、締固めを行います。

### 5 コンクリート表面仕上げ

コンクリート打設面にコテをかけ仕上げます。

### 6 養生

コンクリート表面仕上げ後、養生シートをかけ養生します。

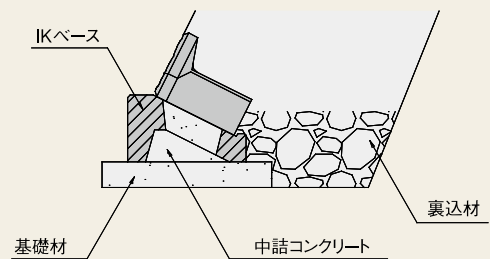
### 7 施工完了

養生シートを取り外し施工完了です。

## ◆連結プレート詳細写真



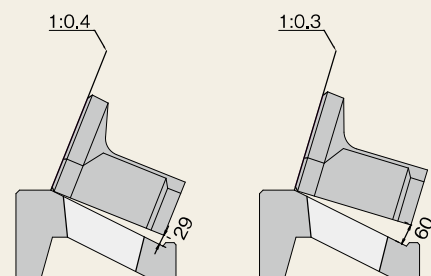
## ◆標準断面図



## ◆根石据付状況



## ◆3分又は4分勾配の場合



## ■IKベース







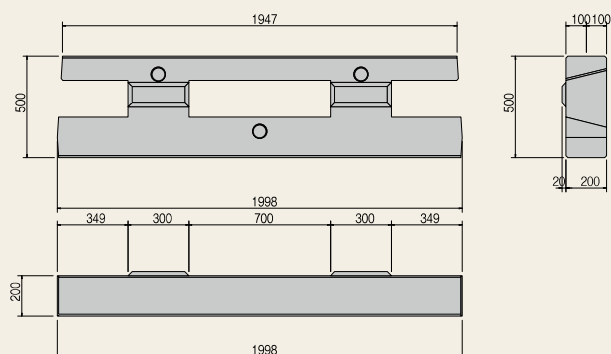
# Iブロック用基礎ブロック



## ◆規格諸元

名 称	規 格 (mm)	参考質量 (kg/個)	中詰量 (m <sup>3</sup> /個)
基本	200×500×1998	300	0.070

## ◆製品図



# ふる里用基礎ブロック

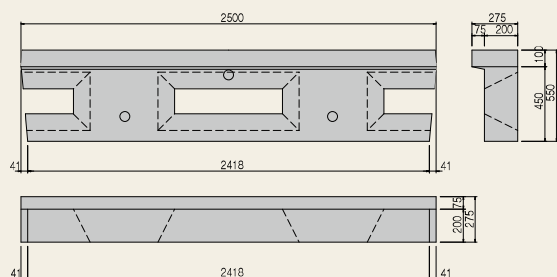


## ◆規格諸元

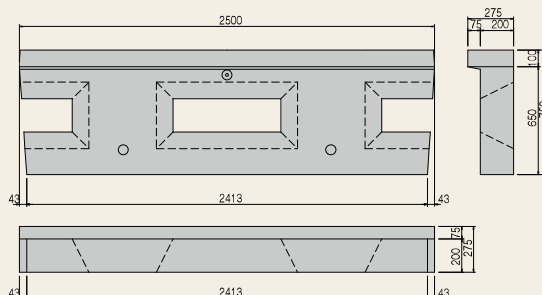
名 称	規 格 (mm)	参考質量 (kg/個)	中詰量 (m <sup>3</sup> /個)
35型 浅目地用 基本	275×550×2500	501	0.0775
35型 浅目地用 端部	275×550×1250	248	0.0398
50型 浅目地用 基本	275×750×2500	693	0.0943
50型 浅目地用 端部	275×750×1250	342	0.0490

## ◆製品図

35型 浅目地用



50型 浅目地用





# IKベース(張りタイプ)



## ◆規格諸元

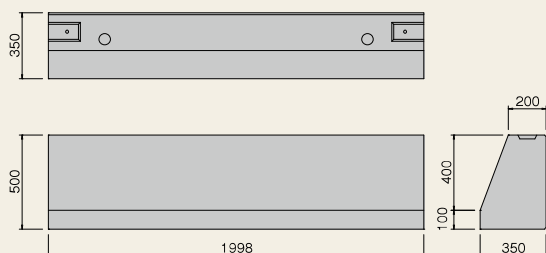
名 称	規 格 (mm)	参考質量 (kg/個)
H=500	500×350×1998	664
H=800	800×600×998	859

## ◆特 長

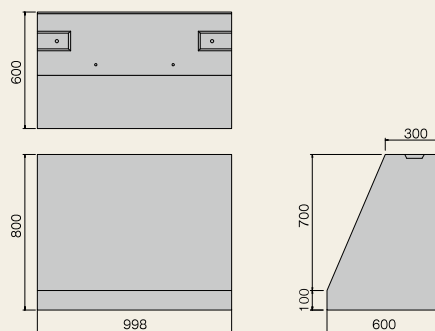
- ・1:1.5～1:2.5勾配に対応できます。
- ・ブロック上面を連結プレートで連結することで一体性が増します。
- ・ブロック重量が軽量で、小型重機での施工が可能です。
- ・型枠の組立、解体が不要で熟練工を必要とせず工期短縮できます。
- ・プレキャスト製品のため形状が安定しており、据付が容易です。
- ・コンクリートの打設手間が省け工期短縮につながります。

## ◆製品図

H=500



H=800



## ◆施工手順



基礎材の設置



ブロックの据え付け



ブロックの位置調整



施工完了



連結部モルタル仕上げ



連結プレート設置



## IKベースKR型・K型

関連資材



### ◆特長

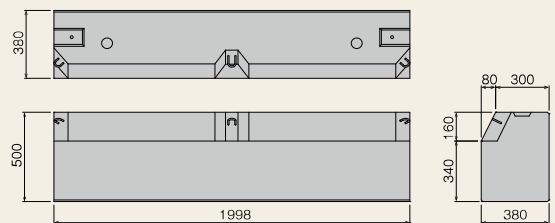
- ・危機管理型ハード対策「のり尻の補強」に対応した基礎ブロックです。
- ・KR型は、「のり尻の補強」対応製品のなぎさとの連結が可能です、一体性を持たせることが可能です。
- ・型枠の組立、解体が不要でコンクリートの打設手間も省くことができるため、工期短縮ができます。

### ◆規格諸元

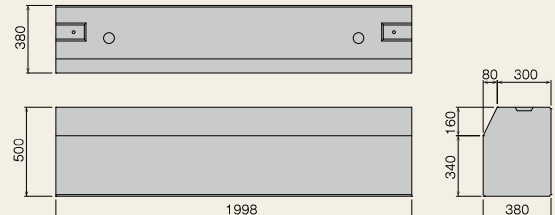
名 称	規 格 (mm)	参考質量 (kg/個)
IKベースKR型	380×500×1998	816
IKベースK型	380×500×1998	823

### ◆製品図

#### KR型



#### K型







# ベースブロック・保護工ブロック

NETIS



ベースブロック(標準タイプ)



ベースブロック(目地用壁付きタイプ)



保護工ブロック

## ◆特長

- ・工期の短縮が可能です。(型枠の組立・解体が不要で、据付け後すぐに埋め戻し等の作業が可能です。)
  - ・省力化が可能です。(機械作業による驚異的スピードの据付けができ、型枠工等の熟練工の作業員が不要です。)
  - ・省資源ができます。(型枠の木材等が不要です。)
  - ・製品を敷設した後、中詰コンクリート打設を行うことにより、護岸基礎工の構築が図れる画期的な製品です。適用場所・現場条件に応じて、製品規格を選択することができ、スムーズな施工及び安全な作業環境の提供を実現し、有用な技術【設計比較対象技術】として評価され、平成21年度 準推奨技術(新技術活用システム会議(国土交通省))に選定されました。
- \* ベースブロックは、丸栄コンクリート工業株式会社の開発製品です。

## ◆規格諸元

### ベースブロック

呼 称		寸 法 仕 様 (mm)										標準タイプ*		壁付タイプ* (通常区間用)		壁付タイプ* (矢板区間用)	
L	タイプ	a	b	c	D1	D2	E	F	G	J	K	kg	m <sup>3</sup>	kg	m <sup>3</sup>	kg	m <sup>3</sup>
5.0m	A	1000	1000	670	80	50	150	150	700	200	400	2670	3.663	2760	3.625	2730	3.639
												m <sup>3</sup>		m <sup>3</sup>		m <sup>3</sup>	
	B	800	800	480	70	50	150	150	500	200	400	1990	2.154	2040	2.133	2000	2.150
												m <sup>3</sup>		m <sup>3</sup>		m <sup>3</sup>	
	C	700	700	380	70	50	150	150	400	200	400	1740	1.509	1770	1.495	1740	1.509
												m <sup>3</sup>		m <sup>3</sup>		m <sup>3</sup>	

### 保護工ブロック

呼 称		寸法仕様(mm)		参考質量 (kg)
L	タイプ	a	b	
5.0m	A	300	700	2410
	B	200	500	1142

\*上段:参考質量(kg) 下段:中詰コンクリート量(m<sup>3</sup>)

\*注1 L=2.5mもご用意できます。

\*注2 Dタイプもご用意できます。



■ベースブロック据付後



■ベースブロック中詰コンクリート打設後



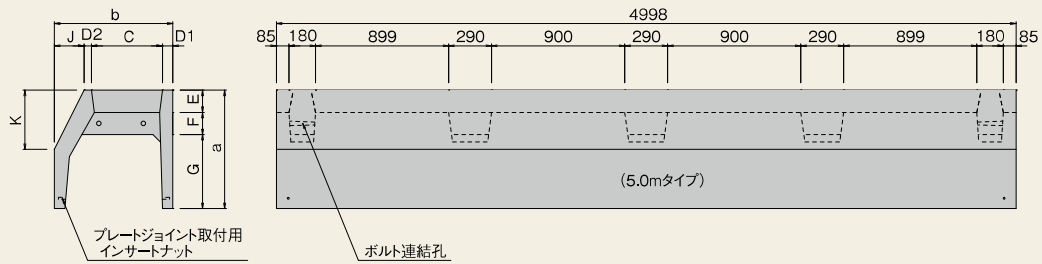
■保護工ブロック据付後



## ◆製品図

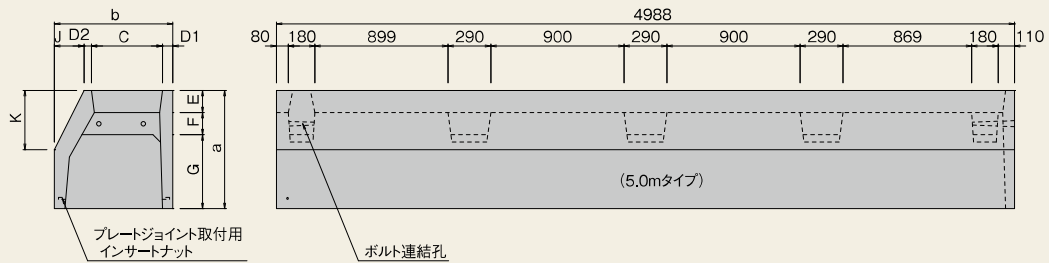
### ベースブロック

#### ●標準タイプ(A～Cタイプ)

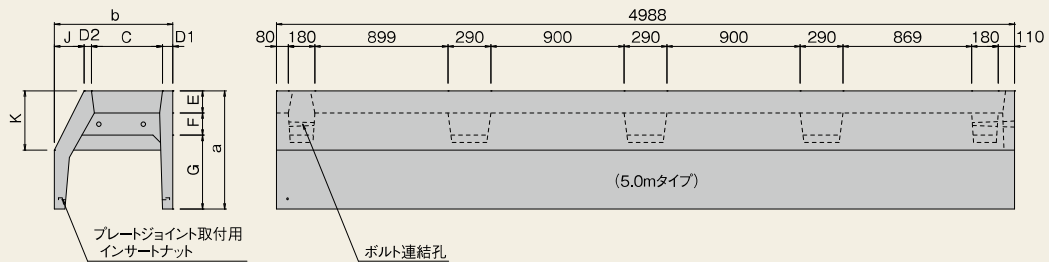


#### ●目地用壁付きタイプ(A～Cタイプ)

～通常区間用～



#### ～矢板区間用～(Bタイプ)



### 保護工ブロック

#### ●Aタイプ



#### ●Bタイプ



関連資材

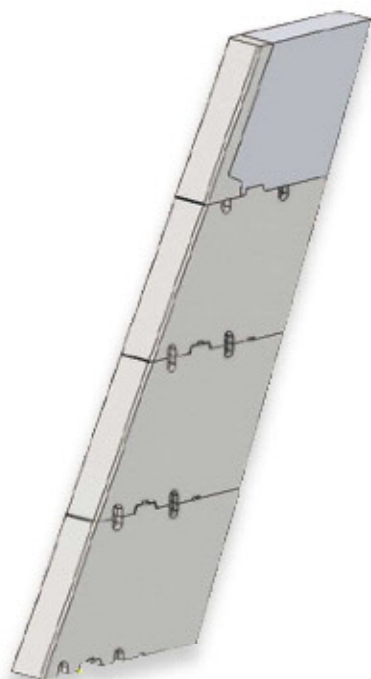




# IK小口止ブロック

明  
度  
証  
明

テ  
ク  
証  
明



## ◆特長

- ・高さに合わせて経済的な幅ブロックから積み上げることができます
- ・ブロック高さは安定しやすい1.0mとしています。
- ・5分勾配用のブロックです。(背面は4分勾配となっています。)
- ・初期から立ち上げることができるため、現場打コンクリートが不要です。
- ・天端で高さ調整が行えます。  
(カットパネルを準備、背面は現場打になります)
- ・ブロック表面は洗い出し加工をしています。
- ・ブロック間の連結はボルト連結のため、作業が容易です。  
(連結後は間詰コンクリートで埋めます。)
- ・ブロック側面にはインサートを3箇所配置しています。  
(アンカーボルトでブロック積の胴込コンクリートと絡める等の使用ができます。)

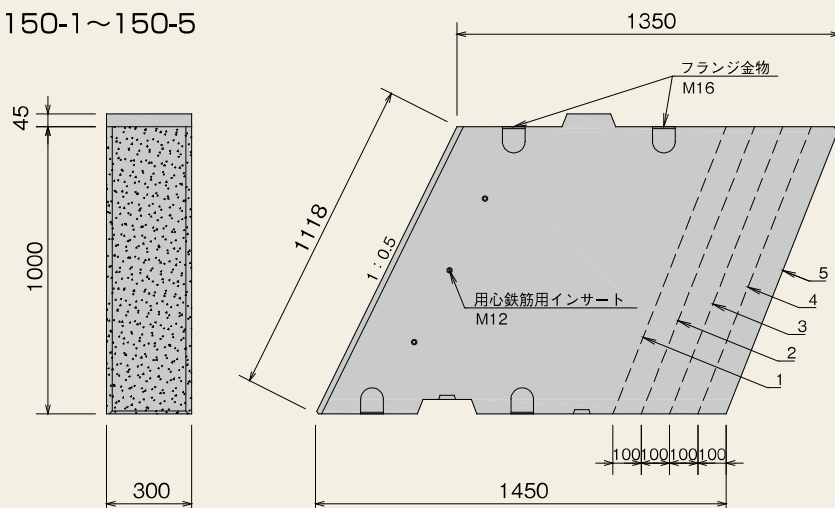


## ◆規格諸元

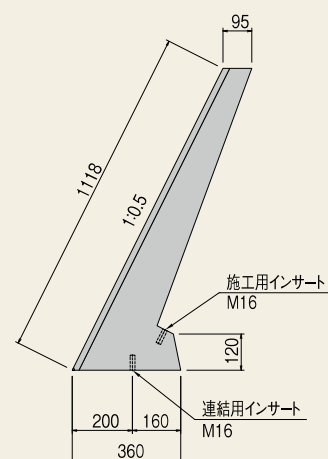
名 称	規 格 (mm)	参考質量 (kg/個)
150-1	300×1000×950-1050	668
150-2	300×1000×1050-1150	735
150-3	300×1000×1150-1250	803
150-4	300×1000×1250-1350	870
150-5	300×1000×1350-1450	940
カット用	300×1000×360	116

## ◆製品図

150-1～150-5

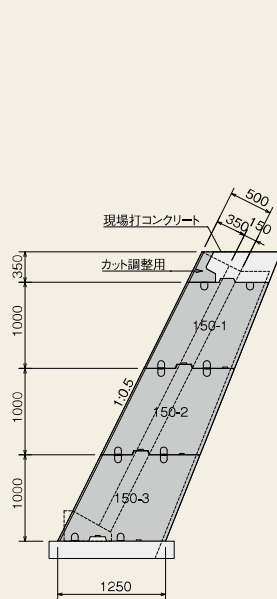


カット用パネル

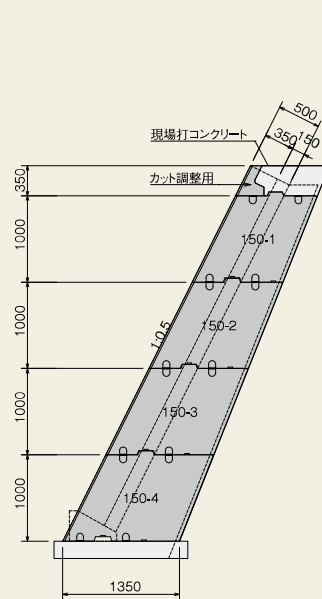


## ◆標準断面図

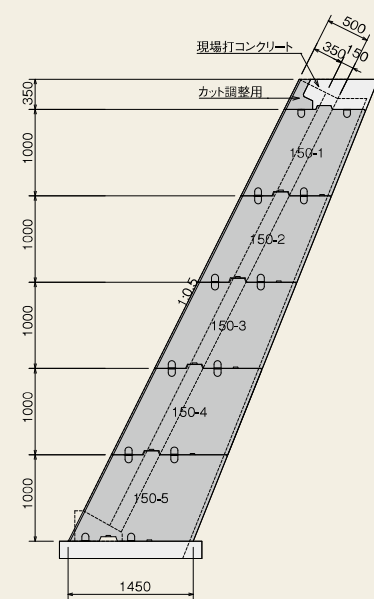
H=3.0m



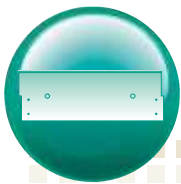
H=4.0m



H=5.0m



※裏込コンクリート150mmの場合



## IK小口止ブロック（緩勾配）



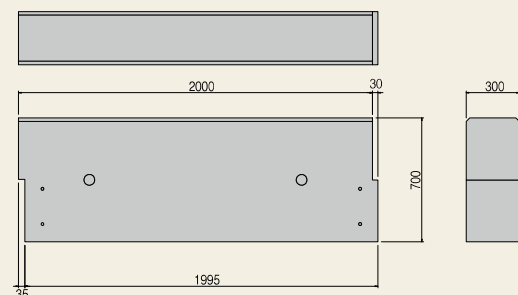
### ◆規格諸元

名 称	規 格(mm)	参考質量(kg/個)
T-550	300×550×2000	739
T-700	300×700×2000	941
T-1000	300×1000×2000	1345



### ◆製品図

T-700





# スリット小口

55

明  
度  
証  
明

テ  
ク  
証  
明



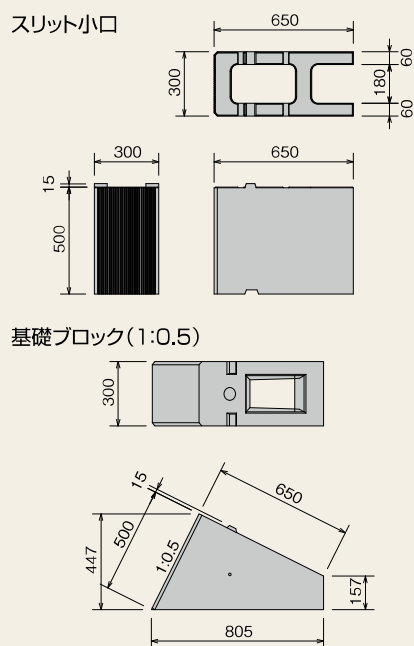
## ◆特長

- ・型枠の組立作業が軽減できます。
- ・施工の省力化と工期の短縮ができます。
- ・ブロック積工と同時の積み上がりが可能です。
- ・即時脱型製品のため、供給能力に優れます。
- ・低明度の製品です。(明度証明申請中)
- ・専用基礎ブロック(1:0.5用)も製造しています。
- ・割面タイプも製造しています(H=250となります)

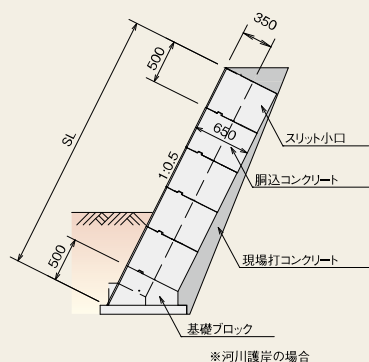
## ◆規格諸元

名 称	規 格(mm)	参考質量(kg)	胴込量(m <sup>2</sup> /個)
スリット小口	300×500×650	121	0.043
基礎ブロック (1:0.5)	300×500×805	126	0.011

## ◆製品図



## ◆標準断面図





# 防災積ブロック（管理者簡易階段兼用）

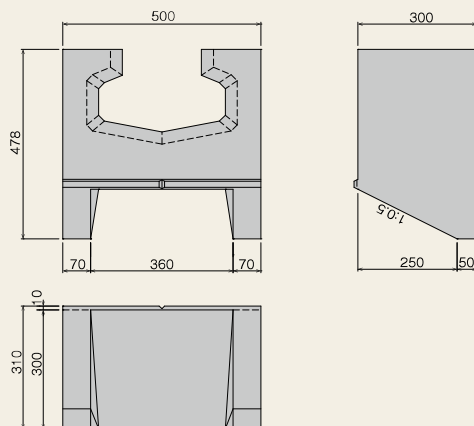


積ブロック擁壁は、緩勾配の護岸に比べて滑落などの被災時に脱出する手段が無く、防災上不安全となっています。防災積ブロックは積ブロック擁壁の間に挟み込む形で簡易的な階段を構築できる製品です。

## ◆特長

- ・一般的に使用する積ブロックの間にブロックを高さ方向に積み上げることで簡易昇降階段を構成できます。
- ・踏み台端に滑り止め兼指掛けを設けており、安全に昇降できます。
- ・突起にブロック前面部を当てながら積むことで1:0.5勾配となるため、施工が容易です。

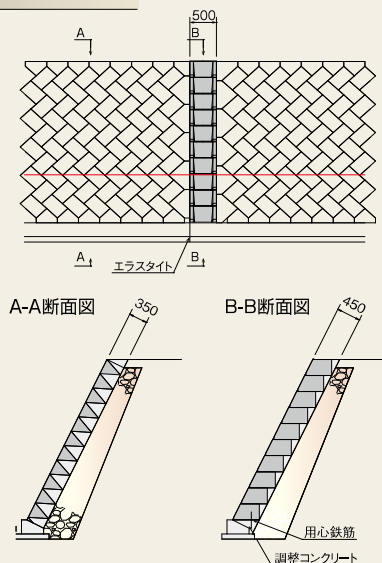
## ◆製品図



## ◆規格諸元

規格寸法(mm)	500×300×478
参考重量(kg/個)	83.3
胴内胴込量(m <sup>3</sup> /個)	0.019
ブロック積施工胴込量(m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> )	0.182

## ◆設置例図







# 階段ブロック



洗い出し



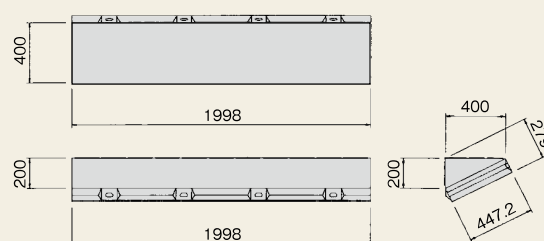
プレーン

## ◆特長

- ・1:1.0、1:1.5、1:2.0、1:2.5、1:3.0の各勾配に合わせた製品があります。
- ・重機による施工で現場打ち階段工に比べて施工性に優れます。

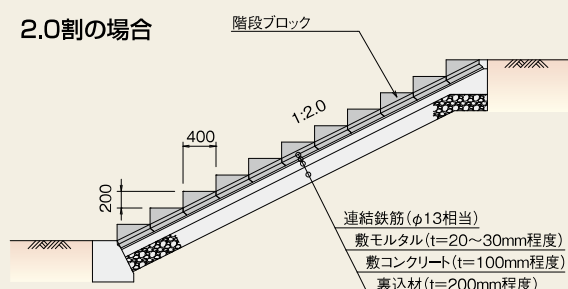
## ◆製品図

### 400型基本



## ◆参考断面図

### 2.0割の場合



## ◆規格諸元

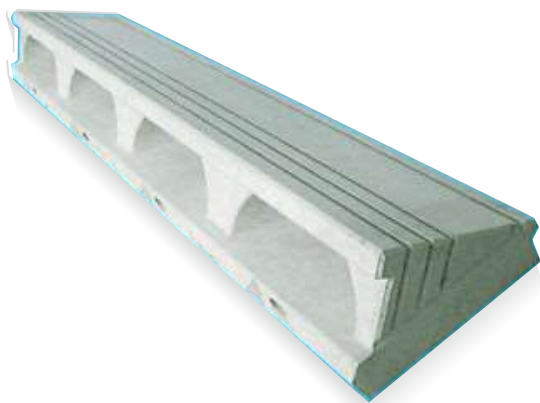
### 階段ブロック

	名 称	規 格 (mm)	参考質量 (kg/個)
1.0割用	200型基本	300×250×1998	330
	200型端部	300×250× 998	165
1.5割用	300型基本	300×200×1998	300
	300型端部	300×200× 998	150
2.0割用	400型基本	400×200×1998	384
	400型端部	400×200× 998	192
	400-II型基本	500×250×1998	526
	400-II型端部	500×250× 998	263
	400-III型基本	300×150×1998	256
	400-III型端部	300×150× 998	128
2.5割用	500型基本	500×200×1998	471
	500型端部	500×200× 998	235
3.0割用	600型基本	600×200×1998	559
	600型端部	600×200× 998	279





# スロープステッパー

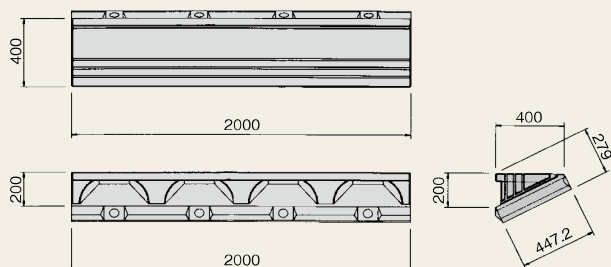


## ◆特長

- ・スロープステッパーの組合せは連節構造となっており、単体のブロック重量もあり、強固な護岸を構築します。また、前面のアーチ形の凹部も適当な粗度を持ち水制効果をはたします。
- ・各タイプの蹴上げ高さ(H=200mm)を統一し安全に昇降できる設計となっています。また、ふみ板表面の凹部はスリップ防止と水はけの効果をはたします。
- ・各種環境整備ブロックとの組合せにより、環境ブロックシステムの構築が可能となり、多機能のニーズに応えることができます。
- ・凹部は魚類にとって適当な陰となり、魚類に生棲空間の提供をします。
- ・製品は、施工性・品質・外観などに優れ、工期の短縮が可能です。

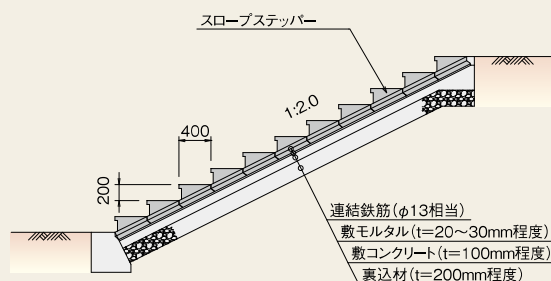
## ◆製品図

### 400型基本



## ◆参考断面図

### 2.0割の場合



## ◆規格諸元

	名 称	規 格 (mm)	参考質量 (kg/個)
1.5割用	300型基本	300×200×2000	246
	300型端部	300×200×1000	123
2.0割用	400型基本	400×200×2000	318
	400型端部	400×200×1000	159







# みち草

(護性証第0161号)



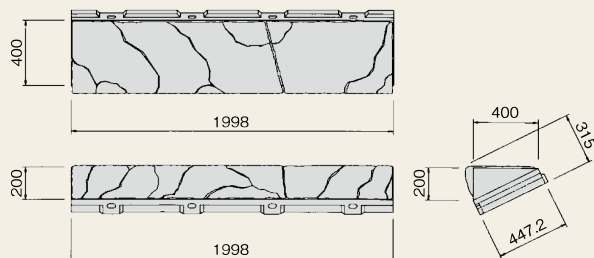
プレーンスリットタイプ

## ◆特長

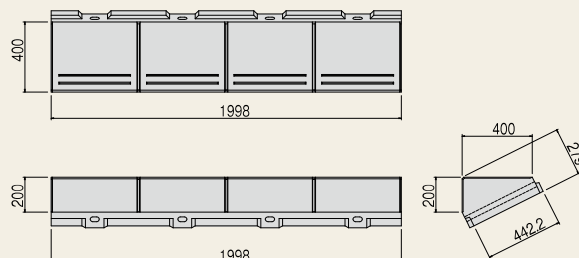
- ・表面意匠に擬石模様を施しており、より自然石に近いため周辺環境に違和感なく溶け込みます。
- ・表面が擬石模様であるため適度に粗であり、スリップ防止効果も期待できます。
- ・1:1.5、1:2.0、1:3.0の勾配に合わせた製品があります。
- ・修景効果があり、親水空間にも適しています。
- ・表面に着色も可能です。
- ・重機により専用の吊金具を用いて施工します。かみ合わせをジョイントする方式で、敷設後に連結線にて一体化をします。
- ・現場打ちの階段工に比べ、施工性がよく工期短縮に貢献します。

## ◆製品図

### 400型基本



### プレーンスリットタイプ

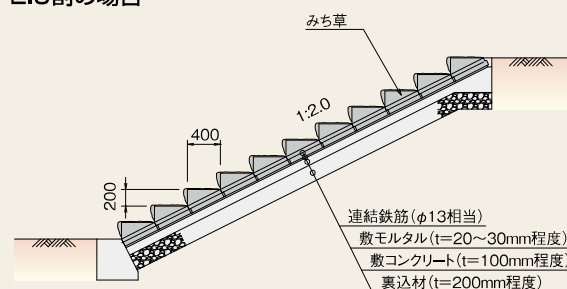


## ◆規格諸元

	名 称	規 格 (mm)	参考質量 (kg/個)
1.5割用	300型基本	300×200×1998	300
	300型端部	300×200× 998	150
2.0割用	400型基本	400×200×1998	384
	400型端部	400×200× 998	192
プレーンスリット 2.0割用	400型基本	400×200×1998	373
	600型基本	600×200×1998	559
3.0割用	600型端部	600×200× 998	280

## ◆参考断面図

### 2.0割の場合





関連資材





# カブサル (洗い出しタイプ・擬石タイプ)



洗い出しタイプ



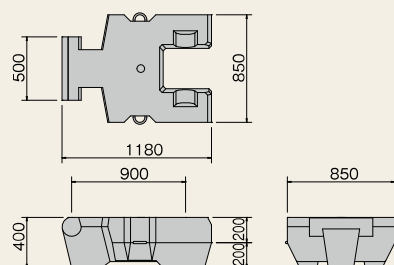
擬石タイプ

## ◆特長

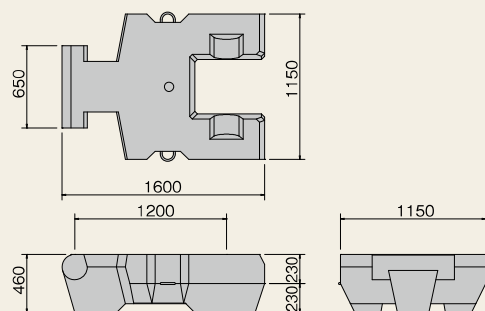
- ・河川縦断方向はヒンデ式であり、被せ石のように下流側ブロック上に上流側ブロックが載ります。これにより、めくれあがりを抑えて河川洗掘などによる河床変動にもしなやかに追従します。
- ・河川横断方向には鉄筋を連結金具で連結し、横断変化に追従します。
- ・自重によって流体力に対して安定しているため、縦断、横断どちらの方向でもヒンデ屈倒にできます。
- ・洗い出しにより表面の明度を抑え、河床景観を向上します。
- ・擬石タイプは川の流れに変化を持たせる粗度効果があり、多様な流れを創出できます。
- ・ブロック側面は中央から下側が1:0.5勾配に絞れており、ブロック擁壁などの護岸との隙間を10cm程度に低減できるため護岸付近の洗掘を防止します。
- ・デーハーを用いて重機で施工するため施工性は良好です。
- ・工場にて製造を行うプレキャスト製品です。

## ◆製品図

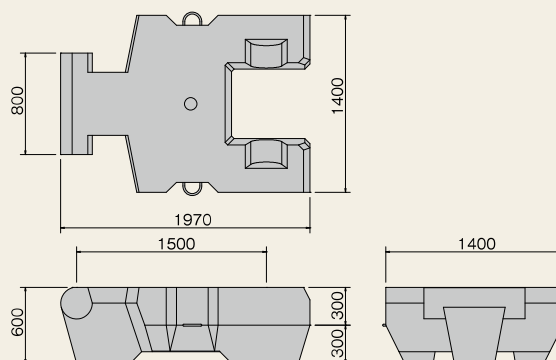
### 0.5tタイプ



### 1.0tタイプ



### 2.0tタイプ



## ◆規格諸元

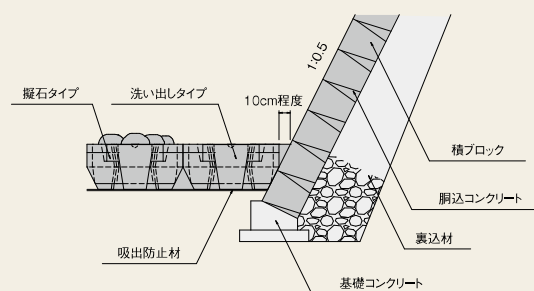
名 称	規 格 (mm)	参考質量 (kg/個)
0.5tタイプ	1180 × 850 × 400	500
0.5tタイプ 端部	980 × 850 × 400	515
1.0tタイプ	1600 × 1150 × 460	1030
2.0tタイプ	1970 × 1400 × 600	2030





ブロック連結部

### ◆標準断面図



関連資材



## エコアラタ



0.5tタイプ(洗い出し)



1.0tタイプ(洗い出し)

### ◆特長

- ・洗い出しにより表面の明度を抑え、河床景観を向上します。
- ・製品形状が正方形で、かみ合わせ等が無いいため、施工が容易です。
- ・洗い出し部に微生物や苔が繁殖しやすく、魚類のエサが確保しやすいです。
- ・四本脚のため設置面の起伏に影響されにくく安定します。
- ・製品四隅を連結金具で連結することで、強固な構造となります。
- ・0.5t、1.0tタイプがあり、使用目的に応じた重量が選択できます。
- ・工場にて製造を行うプレキャスト製品です。

### ◆規格諸元

名 称	規 格 (mm)	参考質量 (kg/個)
0.5tタイプ	983×983×300	529
1.0tタイプ	983×983×550	1067



## トランシェルター



### ◆特長

- ・表面に自然石を施してあり、より自然に近いため周辺環境に違和感なく溶け込みます。
- ・基本型は埋め込み石を200～250mm突出させてあり、石を90°回転して設置することで石の並びが一様にならず、自然な河床となるよう配置しています。
- ・トランシェルター役物は現地発生の巨石を現場で埋め込み施工できるように800×600mmの空隙を設けてあります。



### ◆規格諸元

名 称	規 格 (mm)	参考質量 (kg/個)
基本	1196× 996×500	1100
役物	1196× 996×500	648
2型 基本	1794× 1494×500	2530





## 飛石ブロック



飛石ブロック



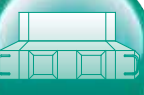
組み合わせ後

### ◆規格諸元

名 称	規 格 (mm)	参考質量(kg/個)
飛石	786×586×900	845
トランシェルター 飛石型役物	1196×996×500	648

### ◆特 長

- ・護床ブロック(トランシェルター役物)に飛石ブロックをはめ込んだユニットを河床に設置するだけで河川内に飛石を構築します。
- ・飛石ブロックは叩き石風の表面をしており、重厚な景観を創りながら滑り防止効果を向上させています。



## 飛石ブロック (クラナガセ)



### ◆特 長

- ・護床ブロックと飛石ブロックが一体となったブロックです。
- ・ステップ面は、洗い出し仕上げで、滑り防止効果を向上しています。
- ・条件等に合わせて飛石の形状、底板の厚みを変更することが可能です。
- ・護床ブロックのみ(飛石無し)の製造も可能です。

### ◆規格諸元

名 称	規 格 (mm)	参考質量(kg/個)
飛石ブロック(クラナガセ)	1500×1500×700	2300



### ◆製品図

